

白石川物語

白石区は、北、東、西の三方を川に囲まれ、大小合わせて33もの川が流れています。川は美しい景観を形成するとともに、貴重な水を選んでくれる大切な財産です。今月は川にすむ生き物や水辺の環境を守る活動などを紹介します。皆さんも川に出掛けて、身近な自然を感じてみませんか。

第1章 川の生き物たち

白石区の川にどんな生き物が生息しているかご存知ですか？ここでは、区内の川にすむ生き物たちを紹介します。

区内の川には、ウグイやヤマメをはじめとした魚や水生昆虫など、多くの生き物が生息しています。

これらの生き物は、水質や水流などの影響を受けて生活しているため、生き物を調べることは、川の環境を把握する上で、とても重要です。

札幌市では、水生生物観察会や水質調査を行う市民などに、網やルーペなどの用具を貸し出しています。

詳しくは、環境局環境都市推進部環境対策課へお問い合わせを。

オオコオイムシ



体長2～3cm。希少種[※]。雌が雄の背中に卵を産み付け、その状態のまま雄が育てる。
※北海道レッドデータブック

フクドジョウ



体長10～20cm。口ひげが3対6本。小さな石が敷き詰められた場所を好む。北海道に多く生息。

イバラトミヨ



体長5～6cm。水草でボール状の珍しい巣を作る。巣を守ったり子育てをしたりするのは雄の役目。

【お問い合わせ】
環境局環境都市推進部環境対策課
☎211-2882
HP www.city.sapporo.jp/kankyo/mizu_kankyo/jigyuu/

川の中をちょっとのぞいてみませんか？



【主催】
月寒川にぎわい川まつり実行委員会
【お問い合わせ】
■市コールセンター ☎222-4894
■[前日まで]区地域振興課 ☎861-2422
■[当日]区土木センター ☎864-8125



※川の観察は大人と一緒に安全な場所で行いましょう。